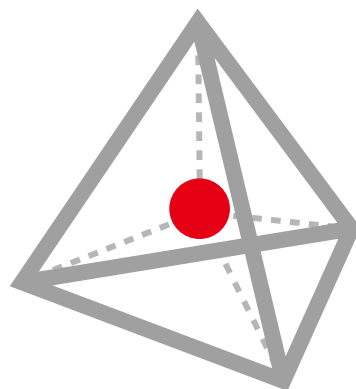




Si-Shield AEROSOL

エアゾール式感染対策ミスト

社内資料

関係者以外閲覧禁止

confidential

※この資料には「社外秘」の情報を含まれますので、情報の持ち出し・公開文章・画像等の内容の無断転載及び複製は禁止とします。取り扱いには十分ご注意ください。



Si-Shield



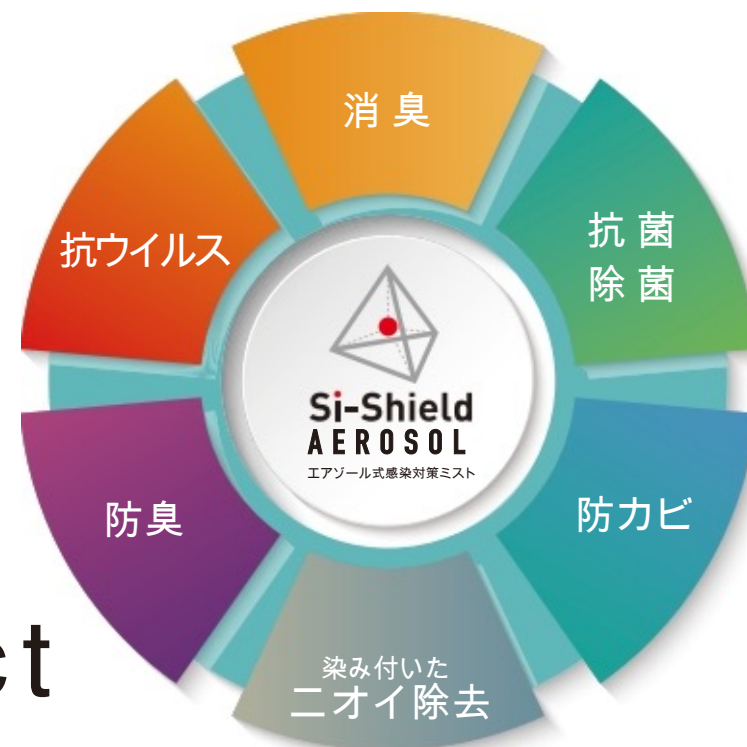
株式会社 iBelieve Meister



7分間の自動噴射で

6つの抗菌除菌・抗ウイルス・消臭・防カビ・防臭・ニオイ除去効果

7 min
6 effect



即効性

即効の除菌・消臭効果
しみついた臭いも除去
成分:天然100%植物エキス(フィトンチッド効果)

持続性

持続する抗菌・抗ウイルス
防カビ・防臭効果



ワンタッチで自動噴射！ 手間いらずでお部屋をコート！

即効の「除菌・消臭」と持続の「抗菌・抗ウイルス・防臭コート」を同時に実現！

ボタンを押すだけで、あとは7分間の自動噴射を待つだけ！

2000菌以上もの細菌・真菌に対し抗菌・防菌効果を発揮します！

1回使いきりのエアゾールタイプです。

消臭

抗菌・除菌

防カビ

防臭

抗ウイルス

染み付いた
ニオイ除去



Si-Shield
AEROSOL
エアゾール式感染対策ミスト

押すだけワンタッチ



内容量:270ml

主成分:Diiodomethyl-p-tolyl Sulfone

備考:自動噴射7分間(1回使い切り)

登録:SIAA(抗菌製品技術協議会)

2000種類以上の菌に対応した成分が

ホテルの衛生管理、感染対策、消臭・防臭を実現!

無臭空間と衛生管理、防カビコートを自動噴霧で実現!

STEP-1 天然100%の植物エキスによる即効の除菌・消臭

厳選された天然100%の植物エキスは、森の浄化作用のフィトンチッド効果とよく言われるように、**強力な除菌・消臭効果**を発揮します。

自然界の森が、食物連鎖によって多くの生物が継続して誕生・死滅を繰り返しているにもかかわらず、悪臭が無く、さわやかな香りに包まれているのは、この森の浄化作用によります。

成分は天然100%の安全な成分で、使用後には森の臭いに近い植物系のさわやかな香りがします。

STEP-2 持続の抗菌・防カビ・防臭効果

『Si-Shield AEROSOL』はスイッチを押すだけの自動噴射で6つの効果を同時に実現!

有機既存化学物質系の複合合成成分で、細菌(バクテリア)だけではなく、これまで難しいとされていた真菌(カビ)までも寄せ付けない、優れた抗菌・防菌効果で**清潔な空間を長期間維持**します!

菌をただ殺すのではなく、菌に危険信号を与え寄せ付けないことにより、菌との共存を可能にしました。

STEP-3 染み付いた臭いの除去

噴射後の密閉時間を最大24時間置くことで、**これまでなかなか取れなかった染み付いている臭いや油性臭の除去が可能**になりました。

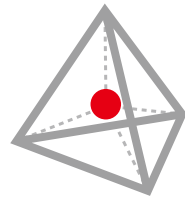
『Si-Shield AEROSOL』のスイッチを押して自動噴射が終わるまでたった7分間待つだけで、今いるウイルスや細菌・真菌の除去や悪臭を消臭するためホテル、倉庫、別荘、病室、オフィスなどの悪臭除去や抗菌・防カビコートを含む衛生管理にも最適です!



JP0112464A0001U

有機合成抗菌材使用

SIAA マークはISO22196法により
評価された結果に基づき、抗菌製品
技術協議会ガイドラインで品質管
理・情報公開された製品に表示され
ています。



Si-Shield
AEROSOL
エアゾール式感染対策ミスト

信頼のSIAA認証

ホテルをご利用のお客様とホテルスタッフに
幅広いシーンで安心してお使いいただけます。

布団・枕カバー・毛布・シーツ・ベットマット・クローゼット・下駄箱・靴・ブーツ・靴下・洋服・下着・畳・絨毯・
カーテン・壁紙・ソファ・エアコンフィルター・ゴミ箱・洗濯機・洗面所・トイレ等水周り・
ベッドの居住空間・浴室・SPORT用具・バック……等

抗ウイルス性能



コロナウイルスと同じエンベロープタイプに
効果のあることが抗ウイルス試験で確認されています。

『Si-Shield AEROSOL』は、インフルエンザウイルスをはじめとした、「エンベロープ型」と分類されるウイルスの表面にある『ウイルス蛋白(スパイク)』にダメージを与えて不活性化させます。

エンベロープタイプ ウイルス	ウイルスタイプ	ノンエンベロープタイプ ウイルス
インフルエンザウイルス コロナウイルス SARS ヘルペスウイルス 麻疹・風疹ウイルス 鳥インフルエンザウイルス	代表的なウイルス 弊社『Si-Shieldスプレー』では、 エンベロープがあるインフルエンザA、 エンベロープがないネコカリシ(ノロ代替)で 第三者のデータを取得しています。	ノロウイルス ネコカリシウイルス(ノロウイルス代替) ポリオウイルス アデノウイルス ロタウイルス
エンベロープタイプのインフルエンザ試験で結果が出ています。 コロナウイルスがエンベロープタイプであることから、効果が期待されます。		一般的には、難しいと言われてるエンベロープなしのネコカリシウイルスにも試験結果が出ているので、効果が期待ができます。 さらにノロウイルスなどに弱いエタノールでも効果が出ています。

※コロナウイルスでの試験は行っていないので、『Si-Shield』の過去の試験データを元に推測しております。

Data-1

ウイルス試験結果

A型インフルエンザ(エンベロープタイプウイルス)に対する不活化効果

作用時間60分				
	Si-Shield AEROSOL	2.9×10^5	$< 6.3 \times 10^1$	$< 6.3 \times 10^1$
	コントロール		2.9×10^5	3.1×10^5

試験機関:財団法人 北里環境科学センター ■ 検出限界: 6.3×10^1 TCID₅₀/mL ■ N.T.:not tested

ウイルス感染価対数減少値の経時変化

作用時間60分			
	Si-Shield AEROSOL	> 3.7	> 3.7
	コントロール	0.0	0.0

試験機関:財団法人 北里環境科学センター ■ 計算式; $\log_{10}$ (初期感染価 (2.9×10^5 TCID₅₀/mL)+各作用時間の感染価)

作用時間30分で、 $3.7 \log_{10}$ 以上のウイルス感染価減少が認められました。

黄色ブドウ球菌	生菌数	1分後の生菌数	5分後の生菌数		1分後の菌減少率	5分後の菌減少率
Si-Shield AEROSOL	1.7×10^5	< 10	< 10		$> 99.9\%$	$> 99.9\%$
精製水(対象)	1.8×10^5	1.4×10^5	1.2×10^5		22.2%	33.3%

大腸菌	生菌数	1分後の生菌数	5分後の生菌数		1分後の菌減少率	5分後の菌減少率
Si-Shield AEROSOL	2.2×10^5	< 10	< 10		$> 99.9\%$	$> 99.9\%$
精製水(対象)	2.5×10^5	2.0×10^5	1.6×10^5		20.0%	36.0%

大腸菌、黄色ブドウ球菌共に、1分後には99.9%減少しました。

カビの嫌なニオイは、増殖するために孢子が分裂する時に発生します。

そのため、Si-Shield AIRSOLをカビに直接かけることでカビ自体は死滅して増殖が止まり、カビ臭はなくなります。

また、一般生活の悪臭の中には、バクテリアやカビなどの菌が作用して、その悪臭の原因物質を発生させていることも少なくありません。

その悪臭に関連している菌を死滅することによって、原因物質がそれ以上発生しなくなれば
消臭、未然に菌の発生そのものを防げば防臭を行っていくことができます。

アンモニアガス	初発濃度	10分後	2時間後	5時間後
Si-Shield AEROSOL	100	25	17	6.0
ブランク	100	82	72	53

酢酸ガス	初発濃度	10分後	2時間後	5時間後
Si-Shield AEROSOL	50	4.9	0.9	0.5
ブランク	50	35	20	71

イソ吉草酸ガス	
Si-Shield AEROSOL	≥ 99 %

アンモニア、酢酸ガス、イソ吉草酸ガスの臭いを短時間にほぼ取り除きました。

Data-4

抗菌試験結果

試験機関:財団法人日本化学繊維検査協会

黄色ブドウ球菌	試験菌液の摂取量(ml)	無加工試験片の 接種直後の生菌数(個)	無加工試験片の 24 時間後の生菌数(個)	抗菌加工試験の 24 時間後の生菌数(個)	抗菌活性値
耐水性区分[0]	0.4	2.4×10^5	3.3×10^5	< 10	> 3.5
耐水性区分[1]	0.4	2.3×10^5	6.1×10^5	< 10	> 4.8
大腸菌	試験菌液の摂取量(ml)	無加工試験片の 接種直後の生菌数(個)	無加工試験片の 24 時間後の生菌数(個)	抗菌加工試験の 24 時間後の生菌数(個)	抗菌活性値
耐水性区分[0]	0.4	1.8×10^5	6.8×10^5	< 10	> 5.8
耐水性区分[1]	0.4	1.7×10^5	7.5×10^5	< 10	> 5.8

大腸菌、黄色ブドウ球菌共に、1分後には99.9%減少しました。

Data-5

防カビ試験結果

試験機関:財団法人日本化学繊維検査協会

	カビの育成4日	カビの育成7日	カビの育成10日	カビの育成14日	表示
Si-Shield AEROSOL	-	-	-	-	0
ブランク	++	++	+++	+++	2

「Si-Shield AEROSOL」を噴霧した検体には、カビは一切生えておりません。

Data-6

急性経口毒性試験結果

試験機関:財団法人日本食品分析センター

「Si-Shield AEROSOL」を
マウス雌雄それぞれ5匹に2000mg/Kg投与して、
14日間の経過を確認。

マウスを用いた急性経口毒性試験

LD50値:>2000mg/kg(雌雄)

マウスは一匹も死亡しませんでした。

Data-7

原体各種安全試験

ラットを用いた急性経口毒性試験	LD50 値:>2000mg/kg	SafePharm Laboratories (英国) *GLP対応 OECD420準拠
ウサギを用いた急性皮膚刺激性試験	P.I.I=1.0	SafePharm Laboratories (英国) *GLP対応 OECD404準拠
モルモットにおける皮膚感作性試験	陰性	SafePharm Laboratories (英国) *GLP対応 OECD406準拠
復帰突然変異試験	陰性	SafePharm Laboratories (英国) *GLP対応 OECD4571準拠
ウサギを用いた眼刺激性試験	軽刺激物	SafePharm Laboratories (英国) *GLP対応 OECD405準拠

- 急性経口毒性試験・・・定量の被検体を動物に投与した際、動物の半数が死亡する量をLD50値で求める試験
- 皮膚刺激性試験・・・その被検体が皮膚に付着した際の反応を4段階評価で判断する試験
- 皮膚感作性試験・・・その被検体によりアレルギー反応を起こすか否かの確認をする試験
- 復帰突然変異試験・・・その被検体が突然変異を引き起こす物質であるか否かを確認する試験。
- 眼刺激性試験・・・その被検体が目に入った際の刺激性を6段階で確認する試験。

「Si-Shield AEROSOL」と他製品との違い

	 Si-Shield AEROSOL エアゾール式感染対策ミスト	 Platino Tune ハンディーミストスプレー	一般 除菌剤 (アルコール)	一般 除カビ剤 (次亜塩素酸)	一般 抗菌スプレー (銀入り)	一般 消臭剤 (イオン交換型)
自動噴霧	◎	×	×	×	×	×
塩素の有無	塩素フリー	塩素フリー	塩素フリー	塩素	塩素フリー	塩素フリー
除菌効果	◎	◎	○	◎	△	△
除カビ効果	×	×	×	◎	×	×
消臭効果	◎	◎	△	○	△	×
抗菌効果(バクテリア)	◎	◎	×	×	◎	×
防カビ効果	◎	◎	×	×	△	×
防臭効果	○	○	×	×	△	×
染み付いたニオイ除去	◎	△	×	△	△	×
コロナウイルス	○	○				
Si-Shieldスプレーでは、エンベロープがあるインフルエンザA、エンベロープがないネコカリシ(ノロ代替)で第三者のデーターを取得してます。コロナは、エンベロープがあるという意味では、インフルエンザで結果が出ています。また、一般的には、より難しいと言われてるネコカリシ(エンベロープなし)でも効果が出ているので期待ができます。さらに言えばノロウイルスなどに弱いエタノールでも効果が出ていることから期待ができます。実際に、コロナウイルスでの試験を行っていないので、あくまでも過去の試験データーを元に推測しております。						

よくある質問-1

主にどこに利用できますか？

家の中、オフィスの中、車の中、スポーツ用品など殆どのものに噴霧することが可能です。

例えば、車内・タンス・押入れ・洋服・スーツ・下着・靴下・靴・ブーツ・下駄箱・枕・枕カバー・シーツ・布団・毛布・ベットマット・ソファ・畳・絨毯・カーテン・壁紙・エアコンフィルター・ゴミ箱・生ごみ・洗濯機や洗面台の水周り周辺・ペットの居住空間。

色落ちが素材が痛む可能性のあるものは、目立たないところで一度使用していただき、その後問題がないことを確認していただいてから使用して下さい。



一般の除菌剤との違いは？

除菌剤と言えばアルコールなどを消毒として使うことが多くあると思いますが、実際に、どの菌に対して効果があるかというのは全く別になります。

一口に菌と言っても、「ウイルス」「バクテリア」「カビ」に分けることができますが、例えばバクテリアの中でも芽胞菌や緑膿菌などは死滅させることが難しいことで有名です。

アルコールなどよりも効力が強い塩素系の薬物を除菌で撒く場合もありますが、人体に与える悪影響はもちろんのこと、素材を腐食させてしまうため、使える素材が限られてくるという問題があります。

「Si-Shield AEROSOL」は、A型インフルエンザウイルス、大腸菌、黄色ぶどう球菌、芽胞菌、緑膿菌、カビ菌を含む、ウイルスやバクテリアに対して即効で抜群の除菌力があります。

一般の消臭剤との違いは？

消臭剤とはこれといった定義がされていなく、文字通りニオイを消す作用が起これば消臭剤と言えます。つまり、抗菌剤でバクテリアを制すれば、それが原因となっていた臭いは消えますし、除カビ剤で今あるカビを取り除くことが出来れば、カビ臭は消えますし、同様に、防カビ剤で未然にカビを防止することが出来れば、カビから来るニオイを防臭しているとも言えます。

その他にも、マスキングと言って他のニオイを撒くことによって臭いを誤魔化したりするようなもの(芳香剤)から、イオン交換やバイオの酵素の力を利用して分解するもの、活性炭などのようにニオイを吸着させてしまうもの(吸着剤)など多岐に渡ります。

「Si-Shield AEROSOL」は、主に菌が原因で発生する臭いに関しては、それらを除菌、抗菌、防カビする能力が高いことから、優れた消臭・防臭効果があります。

100%天然の植物エキスを付加しているため、フィトンチッドの力によって、菌が原因の臭いは勿論のこと、その他の悪臭も取り除きます。さらに、森の浄化作用の原理で、しみついた臭いも取ることが可能となっています。

よくある質問-2

除カビ剤との違いは？

除カビ剤とは一般的に次亜塩素酸などの塩素で既にそこに生えているカビを漂白の力で取り除くことになります。

塩素はすぐに蒸発してしまうため、環境が変わらない限り通常は再度カビが生えてしまい、繰り返し除カビを繰り返さなければいけません。

困ったことは、塩素は素材を腐食させてしまう力を持っていることから、その可能性がある素材には使えません。さらに、素材に既に入り込んでしまったカビは、いくら除カビをしても取れないことが多く、この場合にはどうにもなりません。

「Si-ShieldAEROSOL」は、除カビ剤ではありません。繰り返し行わなければならない除カビを必要なくなるように、最初からカビの発生自体を防止していこうという防カビ剤となります。

抗菌剤と防カビ剤の違いは？

抗菌剤は広義では、菌を制するというのですが、実際には、バクテリアに対して抑制する力を持てば、抗菌剤と呼ばれています。

それに対して、防カビ剤とは、バクテリアよりもはるかに制することが難しいとされてきたカビに対してまで抑制する力を発揮することができるものとなります。

「Si-ShieldAEROSOL」は、バクテリアとカビの両方に対して優れた効果があり、抗菌剤であり、防カビ剤でもあります。つまり、その2つを1つに合わせた性能を持つ商品です。

銀(Ag+)入りなどの抗菌剤との違いは？

最近、銀やAg+を含む抗菌剤が多く市場に出回っておりますが、銀は即効の効果がありますが、やがて、還元変色を起こしてしまう可能性はあります。そうすると、本来銀が持っている抗菌力が発揮されない可能性があります。さらに、バクテリアを防止(抗菌)する力は持っていますが、カビを防止(防カビ)する力には限界があると言われています。

「Si-ShieldAEROSOL」は、バクテリアだけではなく、カビまで優れた防力を発揮します。また、非流出系の有機複合剤であるうえに、無機物を一切使用していないため、還元変色も起こすことがないことから、バクテリア、カビの両方を長期間に渡り、抑制・防止することが可能となります。





Si-Shield AEROSOL

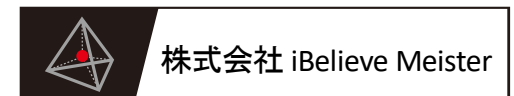
エアゾール式感染対策ミスト



JP0112464A0001U

有機合成抗菌材使用

SIAA マークはISO22196法により
評価された結果に基づき、抗菌製品
技術協議会ガイドラインで品質管
理・情報公開された製品に表示され
ています。



製造・販売：株式会社 iBelieve Meister
大阪府大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル 6F
TEL 06-6152-8408

© 2021 iBelieve Meister Inc. Unauthorized use or replication of the content, text, images, or any other part of this leaflet is strictly prohibited.

Confidential



※この資料には「社外秘」の情報を含まれますので、情報の持ち出し・公開は禁止とします。取り扱いには十分ご注意ください。
Unauthorized copying and replication of the contents of this site, text and images are strictly prohibited.